

ボーイスカウト都道府県連盟
理事長 各位
県コミッショナー 各位

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
事務局長 大久保 秀人

第18回日本スカウトジャンボリー（18NSJ） 新型コロナウイルス感染拡大への対応について

サテライト会場の設置や県大会等の計画、ジャンボリーサマー2022の登録について、ご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの急速な感染拡大に伴い、関連する問い合わせも増え、開催の可否や感染対策の徹底について検討されていることと料します。

感染拡大への対応として、実行委員会の協議に基づき、大会開催や感染対策について、下記のとおりお知らせいたしますので、関係者への周知と対応の徹底についてよろしくお願ひ申し上げます。

記

1. 中央会場および代表スカウトキャンプの実施について

7月18日現在の国内の感染者数の増大傾向にあるが、政府では行動制限を要請することなく感染症対策の徹底の呼びかけを行っており、学校等の課外授業、宿泊体験活動も実施し、地域では大規模イベントも観客制限はなく、感染症対策を行ったうえで実施されている。このようなことから、政府や事業実施地域の自治体からの行動制限要請がない限りは、18NSJについては開催に向けて準備を進める。実行委員会としては、全国一律の判断は行わないが、中央会場および代表スカウトキャンプについては実施することを確認した。

2. 各地での開催、もしくは他県会場への参加について

各地での開催や、他県会場への参加については、それぞれの自治体の指針や地域の実状（学校などの対応、保護者の理解、指導者の職場による指針等）に沿って、開催や参加を検討することを基本とする。日本連盟から全国共通の判断基準を示すことはしない。

中止や内容変更については、当該県連盟や開催・参加の主体となる組織に判断することとし、県連盟を通じて、日本連盟事務局に報告する。特にサテライト会場や県大会会場については、検討段階で日本連盟に一報のうえ、決定内容を連絡する。

3. 参加前からの感染防止対策（持ち込まない）について

参加予定者には、参加前からの体調管理や行動記録等を促し、日頃から健康管理と感染症対策を徹底する。また、参加者が、参加直前に発熱、倦怠感、呼吸困難等の症状などの感染症の疑いがある場合は、参加を取りやめることも徹底するとともに、マスク（予備を含む）や体温計、消毒用品を必ず持参させる。

4. 期間中の対応（広げない）について

日々の検温、手指消毒、間隔を確保した活動等基本的な感染対策の徹底を参加者・主催者両面で徹底する。期間中に、万が一、感染者が出た場合でも、最小限の感染に留まるようにする。

また、期間中に発熱症状等が出た場合は、速やかに帰宅措置等がとれるよう、予め参加者家庭に説明と理解を得るよう準備を進めるとともに、一時的なキャンプサイトでの隔離などの想定準備を行う。

5. 感染者や陽性者が発生した場合には

ジャンボリーサマー全般を含めて、期間中もしくはキャンプ終了後2週間以内に参加者から新型コロナウイルスの感染者やPCR検査陽性者が発生した場合には、県連盟を通じて、日本連盟事務局に報告をする。

以上

この件に関するお問い合わせ：事務局：

18nsj 担当（平岡・額谷） E-mail:18nsj@scout.or.jp TEL:03-6913-6262